

令和５年度事業 評価委員会による二次評価

1 評価基準

二次評価は以下の４段階で行う。

「Ｓ」・・・管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「Ａ」・・・管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「Ｂ」・・・管理運営が良好であった施設

「Ｃ」・・・管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

2 評価

項 目	評価内容
施 設 名	東京都立埋蔵文化財調査センター
二次評価	A
管理状況	・十分な感染症予防対策を講じるなど、利用者が安心して施設を利用できるような環境を常に整えている。 ・日常的な維持管理は計画書に基づき適切に実施している。さらに、設備不良時も柔軟かつ迅速に対応し、利用者の利便性の向上に努めていることは高く評価できる。
事業効果	・企画展では、９６４か所に及ぶ多摩ニュータウン遺跡の中からかつて新聞紙面を飾った遺跡を当時の記事とともに紹介し、改めて遺跡の価値を都民に対して発信した。また、「東京文化財ウィーク」など都事業と連携した特別展示も実施した。 ・縄文土器の特徴を描写する親子向け観察会など幅広い年代が楽しめる多彩な新規事業を実施した。また、インターンシップを実施し、自主事業である発掘調査を大学生等に体験してもらう機会を設けるなど、将来の人材育成にも繋がる企画を行ったことは高く評価できる。 ・企画展示特設サイトの団体HPへの掲載、体験コーナーパネルに英語訳を追加し多言語化の推進を図るなど、利用者へのサービス向上に努めた。 ・一般利用者の接遇等に対する満足度は非常に高く、利用者の視点に立った事業企画や運営を行っている。
その他	・考古学の専門知識と高い接遇能力を有する調査研究員により、発掘調査の成果を活かした普及事業を実施している。今後も埋蔵文化財保護の重要性を広く伝えられるよう、人材育成に取り組み、知識やスキルの継承を図っていくことが望まれる。 ・指定管理事業と発掘調査事業が相互に連携して、引き続き質の高いサービス提供を維持していくことが望まれる。 ・子供達や日頃文化財に接する機会が少ない方が文化財に親しむ機会を増やせるよう、学校や区市町村との連携を一層進めるとともに、外国人もよりアクセスしやすい環境を整備するなど、文化財の保存と活用に向けたすそ野の拡大を図っていくことが望まれる。